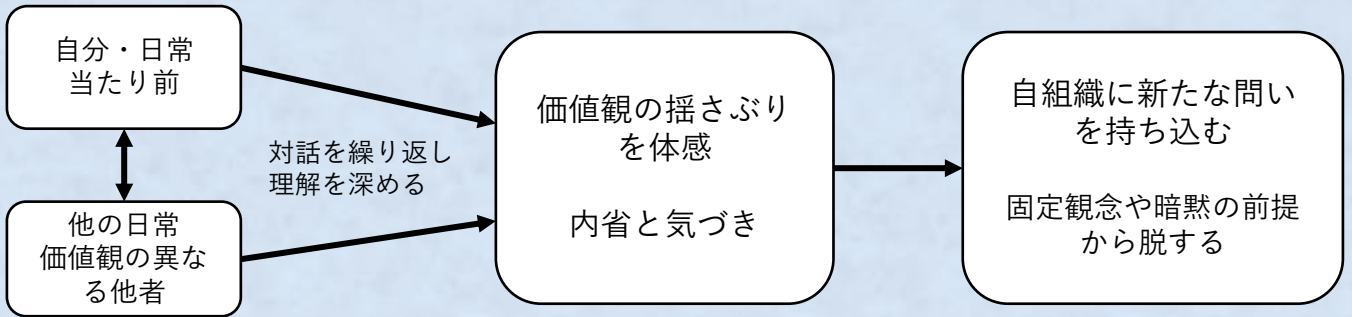


オンライン越境体験 「くじらの町から考える、それぞれの立場と対話」

固定観念や暗黙の前提に気づく、 さまざまな立場の人との対話

くじら漁で知られる和歌山県太地町にオンラインで接続。現地の様々な立場の人との深い対話から、自身のこれまでの経験や知識の枠組み（準拠枠）への気づきを得る、全4回の連続プログラムです。



Day1	Day2	Day3	Day4
事前課題A ・ワークシートの「講座開始前に」記入。自身の“今”を記録	事前課題B ・Day1での気づきを整理 ・捕鯨に関する情報収集	事前課題C ・Day2での気づきを整理 ・ワークシートに沿って振り返り記入	事前課題D ・Day3での気づきを整理 ・太地町の相談ごとについて、事前準備
■テーマ 越境する学びを深めるための準備 ※太地町の特産品を事前にお届け	■テーマ 様々な立場からの「正しさ」と裏にある「事実」を知る	■テーマ “創造的対話”ワークショップ1 太地町のこれからを考える	■テーマ “創造的対話”ワークショップ2 太地町のこれからを考える ※太地町の特産品を事前にお届け
【対話・体験】 ・参加者同士がお互いを知る ・太地町の「クジラとの暮らし」を知る ・太地町における「捕鯨の歴史と変遷」を知る ・気づき、感想の対話と共有	【対話・体験】 ・FACTFULNESSの概要を知る 「事実」をどう捉え、自らの思考バイアスを排除するか	【対話・体験】 ・太地町議員との対話 葛藤と意思決定のストーリーを知り、Willの重要性に気づく ・ワークシートの振り返り、気づき・感想の対話と共有	【対話・体験】 ・3日間の振り返りワーク ・「太地町からの相談ごと（仮題）」について対話 ・オンライン焚火セッション 内省の共有と懇親
【理論・座学】 ・準拠枠（固定観念）を外れ、気づきを得るためのマインドセット ・「対話」「問い」とは	【理論・座学】 ・漁師さんとの対話 ・反捕鯨活動家との対話 ・気づき、感想の対話と共有	【理論・座学】 ・“創造的対話”の準備を整える対話とインフォーマル・リーダーシップ	・日常や仕事に今回の“越境”をどう持ち帰るか 目標設定/共有

日程
(全4回)

6月18日（金）、7月2日（金）
7月16日（金）、7月30日（金）
19:00～21:00

参加費

¥44,000（税込）/人（定員15名）

プログラム参加費、教材費が含まれます。通信料などは含まれません。

プログラム詳細・申し込みはこちら（弊社ホームページ）

<https://hatarakikata.design/news/910/>